

安全性データシート

改定日: 2020年8月20日

発行日: 2020年8月20日

SDS番号: 474A

セクション 1: 物質 / 混合物、および企業 / 業務の識別

1.1. 製品識別

ARC MX FG (A剤)

1.2. 物質または混合物の関連識別用途、並びに推奨用途

FDAに準拠したアプリケーションでの摩耗、侵食、または腐食によって引き起こされた損傷を補修するためにパートBと混合。

1.3. 安全性データシートのサプライヤ情報

会社:

A.W. CHESTERTON COMPANY

860 Salem Street

Groveland, MA 01834-1507, USA

電話: +1 978-469-6446 Fax: +1 978-469-6785

(月-金: 8:30-5:30 PM 東部標準時)

SDSの要求: [www.chesterton.com](http://www.chesterton.com)

Eメール (SDSに関する質問): [ProductSDSs@chesterton.com](mailto:ProductSDSs@chesterton.com)

Eメール: [customer.service@chesterton.com](mailto:customer.service@chesterton.com)

供給元:

1.4. 緊急時電話番号

1日24時間、年中無休

Infotrac (追跡) 電話番号: +1 352-323-3500 (料金受信人払い通話)

セクション 2: 危険有害性の要約

2.1. 物質または混合物の分類

2.1.1. GHSによる分類

皮膚の炎症, 区分 2, H315

皮膚の感作, 区分 1, H317

眼刺激, 区分 2, H319

水生環境有害性, 慢性, 区分 3, H412

2.1.2. 追加情報

H(危険)ステートメントの全文: セクション2.2および16を参照。

2.2. ラベル項目

GHSによるラベル付け

危険の絵表示:



信号語: 警告

危険有害性情報: H315 皮膚刺激。  
H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
H319 強い眼刺激。  
H412 長期的影響により水生生物に有害。

<b>使用上の注意:</b>	P264	使用後、手を充分洗浄してください。
	P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
	P273	環境への放出を避けること。
	P280	保護手袋/保護眼鏡/保護面を着用すること。
	P302/352	皮膚に付着した場合: 多量の水と石鹼で洗うこと。
	P333/313	皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P305/351/338	眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗うこと。 次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
	P337/313	眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受けること。
	P362/364	汚染された衣類を脱ぎ、再使用す場合には洗濯をすること。
	P501	許可された廃棄物処理プラントで内容物/容器を処分してください。

**補足情報:** なし

### 2.3. その他の危険性

安全・健康障害の詳細はA剤、B剤とも別紙に記載してあります。硬化物質は最終的に無害とされています。機械加工の際は、A剤、B剤の安全データシートの注意事項を参照してください。

## セクション 3: 組成、成分情報

### 3.2. 混合物

危険成分 <sup>1</sup>	重量%	CAS番号	GHS分類
反応生成物: ビスフェノール-A- (エピクロルヒドリン)	10 - 15	25068-38-6	眼刺激性 2A, H319 皮膚刺激性 2, H315 皮膚感作性 1, H317 水生慢性 2, H411
反応生成物: ビスフェノール-A- (エピクロルヒドリン)	3 - 7	28064-14-4, 9003-36-5	皮膚刺激性 2, H319 皮膚感作性 1, H317 水生慢性 2, H411
その他の成分 <sup>1</sup> :			
酸化アルミニウム	60 - 70	1344-28-1	分類されていません*
アモルファスシリカ	1 - 5	112945-52-5, 7631-86-9	分類されていません*
二酸化チタン	0.1 - 0.9	13463-67-7	分類されていません

\*職場での暴露限界のある物質。

H(危険)ステートメントの全文: セクション16を参照。

<sup>1</sup>分類基準: 労働安全衛生法, 毒物および劇物取締法, GHS

## セクション 4: 応急処置

### 4.1. 応急処置情報

<b>吸入:</b>	新鮮な空気のある場所に移動してください。呼吸が停止している場合は、人工呼吸を実行してください。医師の診断を受けてください。
<b>皮膚への付着:</b>	汚染した衣服は脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。石鹼水で皮膚を洗浄してください。医師の診断を受けてください。
<b>目に入った場合:</b>	大量の水で目を最低15分間洗い流してください。刺激が持続する場合は医師の診断を受けてください。
<b>呑み込んだ場合:</b>	水で口をゆすいでください。医師の診断なしで無理に吐かせないでください 意識のない場合口から物を与えないでください。直ちに医師の診断を受けてください。
<b>応急手当を行う人の保護:</b>	個人に対する危険がある場合や適切な訓練が行われていない場合は、行動を起こさないでください。 犠牲者に手当てを施している間は製品に触らないでください。 個人用保護具に関する奨励事項についてはセクション888.2.2参照してください。

**4.2. 最も重要な徴候と影響 (急性および遅延)**

目刺激性と皮膚刺激性 発疹、ジンマシン、その他のアレルギー反応など皮膚の過敏反応を起こします。

**4.3. 緊急に医師の診察および特別な治療が必要な徴候**

症状の手当てをしてください。

**セクション 5: 火災時の処置****5.1. 消火剤**

**適切な消火剤:** 二酸化炭素, 乾燥薬品, 発泡 あるいは 水霧

**不適切消火剤:** データなし

**5.2. 物質または混合物から生じる特別な危険性**

異常な高熱に晒されるとガスが生成され容器が破裂することがあります。

**5.3. 消防の際のアドバイス**

熱に晒された容器は水で冷却してください。消防士に自給式呼吸器の着用を勧めてください。

**セクション 6: 漏出時の処置****6.1. 作業者の注意、保護装備、緊急時の手順**

皮膚に付着しないようにしてください。セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

**6.2. 環境に対する注意**

下水、河川、水路に流さないでください。

**6.3. 閉じ込めおよび清掃の方法・材料**

適切な廃棄用容器に回収してください。

**6.4. 他のセクションの参照**

廃棄処理についてはセクション13を参照してください。

**セクション 7: 取扱い及び保管上の注意****7.1. 安全な取扱いのための注意**

直ちに汚染した衣服を脱いでください。衣服は再使用する前に洗ってください。

汚染された皮は靴を含め浄化することはできません。処分してください。使用後は飲食や喫煙の前に手を洗ってください。

セクション8で指定された露出制御と人体保護を利用してください。

除去、ドリル、研削、のこ引き、研磨などを行う際は、粉塵の生成、吸引を避けてください。

**7.2. 安全な保管のための条件 (配合禁忌を含む)**

10° C から32° C で乾燥したところに保管してください。

**7.3. 具体的な最終用途**

予防策は特になし。

## セクション 8: 暴露防止及び保護措置

## 8.1. 管理パラメーター

成分	日本産業衛生学会 OEL		ACGIH TLV	
	ppm	mg/m <sup>3</sup>	ppm	mg/m <sup>3</sup>
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	N/A	N/A	N/A	N/A
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	N/A	N/A	N/A	N/A
酸化アルミニウム	(吸引可能) (総塵)	0.5 2	(吸引可能)	1
アモルファスシリカ	N/A	N/A	(総塵) (吸引可能)	10* 3
二酸化チタン	(吸引可能) (総塵)	1 4	N/A	10

\* 特定不能の微粒子 (PNOS)

## 生物学的限界値

構成成分に対する生物学的暴露限界はありません。

## 8.2. 曝露制限

## 8.2.1. 設備対策

効率のよい一般機械換気装置と局所排気装置。

粉塵を生成する恐れのある硬化物に最終的に変更する必要がある場合は、粉塵の除去、低減を行ってください。

## 8.2.2. 作業員の保護対策

**呼吸器系の保護:** 通常不必要。  
許容限界を超える場合は、埃/有機蒸気フィルター付きの半面あるいは全面呼吸マスクを使用してください  
(例: 欧州規格フィルタータイプ A/P)。

**手袋:** 耐薬品性手袋 (例: ブチルゴム、ネオプレン、あるいはポリ塩化ビニル)

**目 / 顔の保護:** 安全ゴーグル。

**その他:** 皮膚への付着を防ぐために必要な不浸透性の衣服。

## 8.2.3. 環境暴露措置

セクション6と12を参照。

## セクション 9: 物理的及び化学的性質

## 9.1. 基本的な物理・化学的性質に関する情報

形状	粘性ペースト	臭気	甘い臭い
色	白	においの閾値	未定
初留点	適応せず	20° Cでの蒸気圧	未定
融点	適応せず	重量比芳香物含有率 (%)	0%
揮発率%(容量比)	0%	pH	適応せず
引火点	> 200°C	相対密度	2,441 kg/l
方法	PM閉カップ	係数(水/油)	< 1
粘度	125,000 cps @ 25° C	蒸気密度(空気=1)	> 1
自己発火温度	適応せず	蒸発率(エーテル=1)	< 1
分解温度	未定	水溶性	不溶性
高/低引火性あるいは高/低爆発限界	未定	酸化性	未定
引火性(固体、ガス)	適応せず	爆発性	未定

## 9.2. その他の情報

なし

## セクション 10: 安定性及び反応性

## 10.1. 反応性

セクション10.3と10.5を参照。

## 10.2. 化学的安定性

安定

## 10.3. 危険な反応の可能性

通常の使用条件では危険反応は起こっていません。

## 10.4. 避けるべき条件

過熱

## 10.5. 配合禁忌薬品

強酸、塩基、液体塩素や濃縮酸素のような強力酸化剤。

## 10.6. 危険な分解物

一酸化炭素、二酸化炭素、アルデヒド、その他の有毒煙。

## セクション 11: 有害性情報

## 11.1. 毒性影響に関する情報

通常使用時の主な接触経路: 皮膚や目への付着。  
皮膚や目の疾患、皮膚アレルギーのある作業員が晒されると、症状が悪化することがあります。

**急性毒性 -**

**経口:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg
二酸化チタン	致死量50(LD50), ラット	> 10,000 mg/kg
酸化アルミニウム	致死量50(LD50), ラット	> 5,000 mg/kg

**経皮:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	致死量50(LD50), うさぎ	> 2,000 mg/kg
二酸化チタン	致死量50(LD50), うさぎ	> 10,000 mg/kg

**吸入:** 成分に関する入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂 (CAS番号 25068-38-6)	致死濃度0(LC0), ラット, 5-8 時間	蒸気飽和レベルでの死亡なし
二酸化チタン	致死濃度50(LC50), ラット, 4時間	> 6.82 mg/l

**皮膚腐食性/刺激性:** 皮膚刺激。

物質	テスト	結果
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	皮膚の炎症, うさぎ	かすかな刺激
二酸化チタン	皮膚の炎症, うさぎ	炎症なし

**眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性:** 強い眼刺激。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂 (CAS番号 25068-38-6)	目の炎症, うさぎ	かすかな刺激
エポキシ樹脂 (CAS番号 28064-14-4)	目の炎症, うさぎ	炎症なし
二酸化チタン	目の炎症, うさぎ	炎症なし

**呼吸器または皮膚の感作:** アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

物質	テスト	結果
反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン)	皮膚の感作, モルモット	過敏性
二酸化チタン	皮膚の感作, モルモット	過敏性なし

**胚細胞突然変異原性:** 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン), 酸化アルミニウム, 二酸化チタン: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**がん原性:** 国際がん研究機関(IARC) は吸引された二酸化チタンを発ガン性の疑いのある物質に指定しています(グループ 2B)。本製品内の二酸化チタンは混合物から分離したり空気中で運ばれたりしないので、通常の使用では危険はありません。

**生殖毒性:** 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロルヒドリン), 酸化アルミニウム, 二酸化チタン: 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**STOT - 単回暴露:** 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン), 酸化アルミニウム, 二酸化チタン:  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**STOT - 反復暴露:** 反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン), 酸化アルミニウム, 二酸化チタン:  
入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

物質	テスト	結果
エポキシ樹脂 (CAS番号 9003-36-5)	亜慢性NOAEL(無毒性量), 経口, 90日, ラット, 雄 / 雌 (OECD 408)	250 mg/kg体重/日
エポキシ樹脂 (CAS番号 25068-38-6)	亜慢性NOAEL(無毒性量), 経口, 90日, ラット, 雄 / 雌 (OECD 408)	50 mg/kg体重/日
エポキシ樹脂 (CAS番号 25068-38-6)	亜慢性NOAEL(無毒性量), 経皮, 90日, ラット, 雄 / 雌 (OECD 411)	10 mg/kg体重/日
エポキシ樹脂 (CAS番号 25068-38-6)	亜慢性NOAEL(無毒性量), 経皮, 90日, マウス, 雄 (OECD 411)	100 mg/kg体重/日

**吸引性呼吸器有害性:** 入手可能なデータによると分類基準を満たしていません。

**その他の情報:** なし

## セクション 12: 環境影響情報

本製品用に特別に決定された生態毒性データはありません。以下の情報は類似した物質の成分と生態毒性に基づいています。

### 12.1. 毒性

反応生成物: ビスフェノール-A-(エピクロロヒドリン): 急性の場合水生生物にやや有毒です (最も敏感な種でLC50/EC50が1から10 mg/リットル.); 慢性NOEC, 21日, ダフニア・マグナ (OECD 211) 0.3 mg/l.

### 12.2. 持続性・分解性

エポキシ樹脂: なかなか生分解しません。二酸化チタン, 酸化アルミニウム: 無機物質。

### 12.3. 生物蓄積の可能性

エポキシ樹脂: オクタノール / 水分配係数 (log Kow) = 2.64 - 3.78; 生物濃縮係数 (QSAR) ≤ 31, 生体内蓄積の可能性低。

### 12.4. 土壌中の移動性

粘性ペースト 非水溶。環境移動性を決定する際は、本製品の物理、化学特性を考慮してください(セクション9参照)。  
エポキシ樹脂: 地面にしみ込むと流動するので、地下水を汚染することがあります (Log Koc ≤ 3.65)。

### 12.6. その他の悪影響

既知の影響なし

## セクション 13: 廃棄上の注意

### 13.1. 廃棄処理方法

樹脂と硬化剤を混合してください。硬化物質は最終的に無害とされています。  
安定化、固化された液体を密閉容器に入れ、正式に認可された設備で埋立処で処理してください。  
反応を起こしていない成分は特殊廃棄物です (EC理事会指令2008/98/ECで危険廃棄物に指定)。  
適切な設備で焼却することができます。地方自治体、国家条例を調べ、最も厳しい条件を遵守してください。

## セクション 14: 輸送上の注意

### 14.1. UN番号

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

## 14.2. UN固有輸送名

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 無害、規制なし

## 14.3. 輸送危険性分類

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

## 14.4. 梱包グループ

ADR/RID/ADN/IMDG/ICAO: 適応せず

## 14.5. 環境への危険性

適応せず

## 14.6. ユーザーへの特別な注意

適応せず

## 14.7. Marpol 73/78附則IIIによる貨物輸送およびIBCコード

適応せず

## 14.8. その他の情報

適応せず

## セクション 15: 適用法令

## 15.1. 物質または混合物に固有の安全性・保健・環境規制 / 法規

日本PRTR	クラスI薬品: なし	クラスII薬品: なし
その他の国内規制:	労働安全衛生法(安衛法) 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物: 酸化アルミニウム, 無臭 水質汚濁防止法 指定物質: 酸化アルミニウム	

## セクション 16: その他の情報

**略語一覧:** ACGIH:米国内産業衛生専門家会議  
 ADN:内陸水路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ADR:道路による危険物の国際輸送に関する欧州協定  
 ATE:急性毒性推定値  
 BCF: 生物濃縮係数  
 cATpE: 変換後の急性毒性推定値  
 GHS:世界調和システム  
 ICAO:国際民間航空機関  
 IMDG:国際海上危険物規定  
 LC50:試験動物の50%を死亡させる致死濃度  
 LD50:試験動物の50%を死亡させる投与量  
 LOEL:最小作用量  
 NOEC:最大無作用濃度  
 NOEL:最大無作用量  
 N/A:該当せず  
 PEL:許容暴露限度  
 RID:鉄道による危険物の国際輸送に関する規定  
 SDS:安全性データシート  
 STEL:短時間暴露許容濃度  
 STOT: 特定標的臓器毒性  
 TLV:暴露限界  
 その他の略語はwww.wikipedia.orgで調べることができます。



**主な参考文献およびデータ出典:** 独立行政法人 製品評価技術基盤機構(通称 ナイト、NITE)  
 欧州化学物質庁(ECHA) - 化学物質に関する情報  
 米国国立医学図書館毒物学データネットワーク (TOXNET)  
 化学分類および情報データベース (CCID)

**GHSによる混合物の分類方法:**

分類	分類手順
皮膚刺激性 2, H315	算出方法
皮膚感作性 1, H317	算出方法
眼刺激性 2, H319	算出方法
水生慢性 3, H412	算出方法

**関連するH(危険)-ステートメント:** H315: 皮膚刺激。  
 H317: アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。  
 H319: 強い眼刺激。  
 H411: 長期的影響により水生生物に毒性。

**その他の情報:** なし

**本改訂によるSDSの変更:** 原本。

本情報は使用物質の供給元が発行したデータにのみ基づいており、混合物自体に基づくものではありません。  
 使用者の特別な目的に対する製品の適合性に関する保証は一切明示、暗示されていません。適合性は使用者自身が決定しなければなりません。